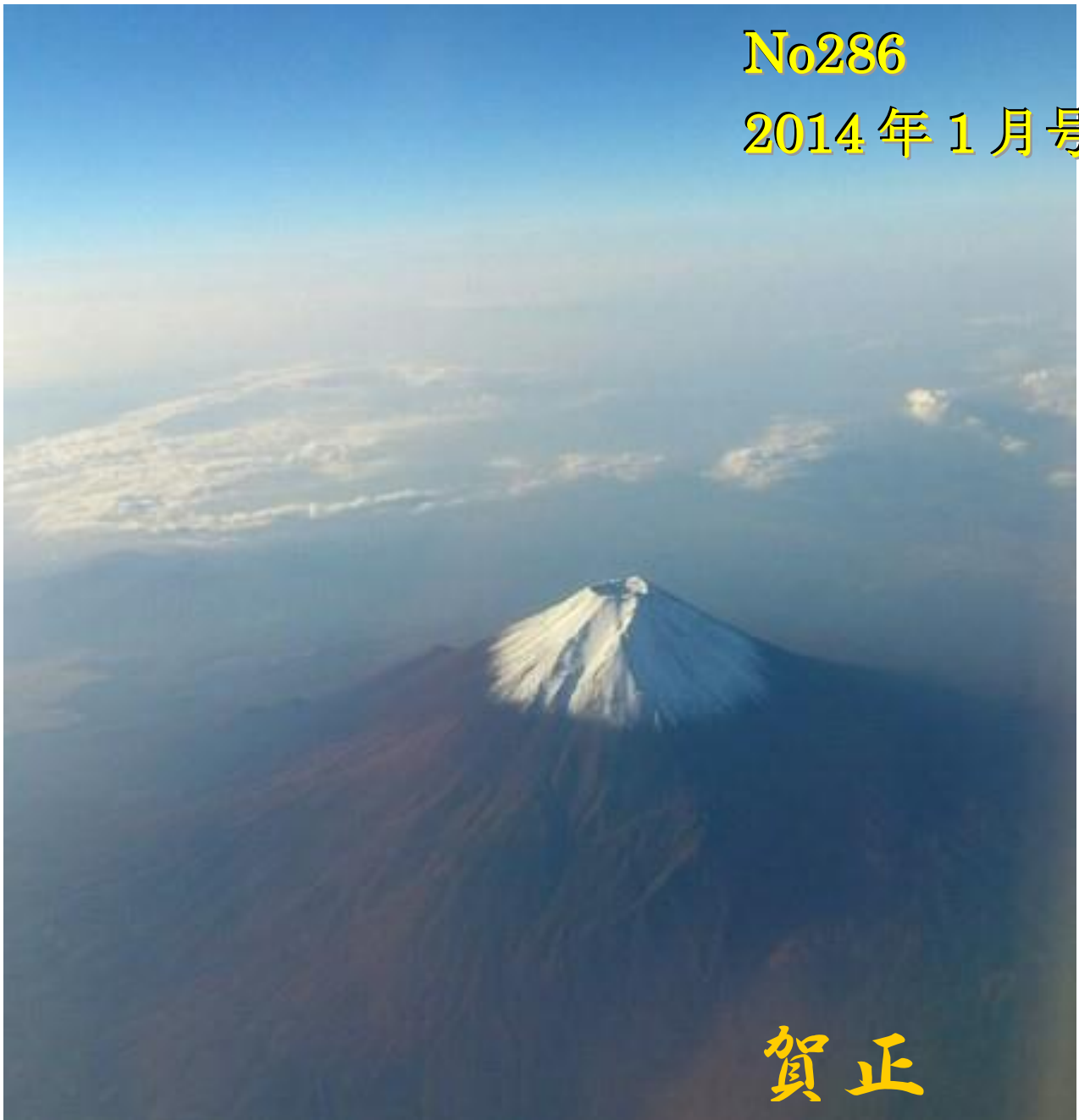


おれんじニュース

No286

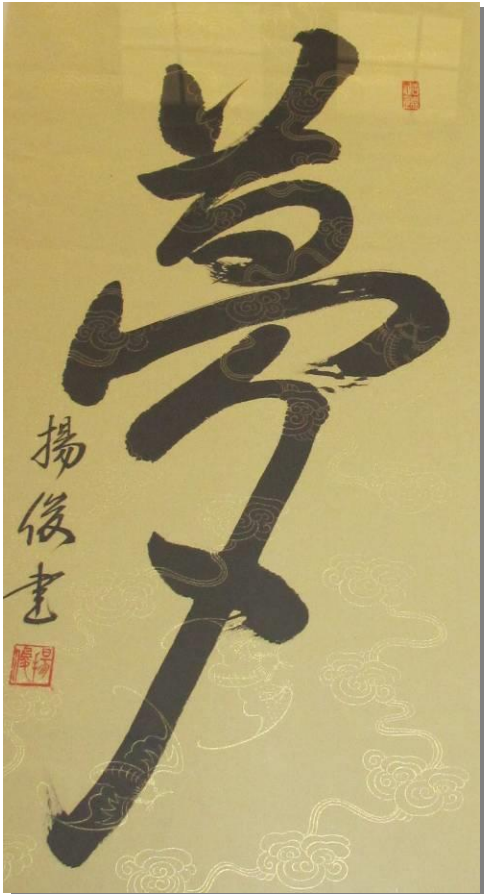
2014年1月号



今年世界遺産に登録されたばかりの富士山を初冠雪の頃機中よりカメラに納める。中里氏

今月号の記事	古処山・求菩提山・郡岳～経ヶ岳・井樋ノ尾岳・小浜～唐比
--------	-----------------------------

★集会・委員会のお知らせ★ 山行の一步は集会参加から				
	2014年1月	2014年2月	時 間	場 所
運営委員会	8日(水)	12日(水)	19:00～21:30	西諫早公民館
全体集会	22日(水)	26日(水)	19:00～21:30	西諫早公民館



御館山稲荷神社の第二展望所より朝日を望む

撮影 野中氏

← 書 下釜さん



林道との出会辺りで木立の間から朝日がさした



まだ暗い南登山口でストレッチ体操を行う



二座目、遠見山、鎗水さん少し疲れた？



まず一座目、郡岳まだ元気

2014 / 1 月の山行



部	技術研修部	自然保護部	山行部	ひまわり	技術研修部
月・日	1/12(日)	1/13(月祝)	1/19(日)	1/26(日)	1/29(水)
山名(行事)	多良岳 (黒木から)	祐徳稲荷参詣	九重・黒岩山 上泉水・下泉水	島原散策	スキー体験
地 図	多良岳		湯坪		
集 合 場 所	西諫早駅 8:00	諫早駅 7:45	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅発 8:02 島鉄	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30
難 易 度	初級	初級	初級	初級	初級
帰 着 時 間	16:00	16:30	18:00	16:00	19:00
歩 行 時 間	4h	2h	4h	4h	
交 通 手 段	マイカー	JR&徒歩	マイクロバス	島原鉄道乗り 放題	マイクロバス 又はマイカー
宿 泊 施 設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温 泉	なし	有り	有り	?	有り
参 加 費	1000 円	交通費のみ	5000 円	1000 円	135000 位
申 込 期 限	定員になり次第	随時	定員になり次第	随時	定員になり次第
集 約	佐原	中里	田中	林	川原
備 考	新年祈願登山 です。天候によ っては冬山の 装備が必要。	鹿島では酒蔵め ぐりをして歩 きます。(*_*)	多分アゼンが必 要になるでし ょう。冬山の用 意でどうぞ!	島鉄の千円で 乗り放題の日 です。大いに得 した気分。	九重のスキー場 にいきます。雪遊 びしましょ。
感想文提出	1/22	1/23	1/29	2/6	2/9

日程
変更

年末金泉寺泊

*年末 金泉寺泊いたします。希望者は川原さん (090-5721-1641) まで申し込んでください。寝袋持参年越しのお酒をくみかわしましょう!!

初日の出参拝登山

*1月1日 御館山展望所 7:00 集合

お酒、おつまみ各自持参すること。今年の安全登山を祈ります。

2014/2月の山行



部	技術研修部	山行部	自然保護部	ひまわり
月・日	2/2(日)	2/22(土)	2/25(火)	2/28(金)
山名(行事)	犬ヶ岳(1130.8m)	孔大寺(499m) 湯川山(471m)	武雄御船山(207m) &牛尾梅林	三角岳(405.9m)
地 図	下河内・伊良原 耶馬溪西部・英彦山	吉木	武雄	三角
集合場所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	西諫早駅 8:20	諫早駅裏 6:50 西諫早駅 7:00
難易度	初級&中級	中級	初級	初級
帰着時間	20:00	20:00	16:10	19:00
歩行時間	4hor5.5h	4h	2.5h	3h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイカー	マイクロバス
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温泉	ト仙の郷	?	無し	有り
参加費	5,000円	5,000円	1,500円	5000円
申込期限	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第
集約	佐原	田中	中里	林
備考	求菩提資料館から登ります。12月の続き山行です。	宗像四塚連峰の最高峰・展望も最高です。	その形で名前がついたと言う船の形をした岩山です。	天草諸島の展望台 宇土半島の西端にあり海を眺めるのに最高の場所です。
感想文提出	2/12	3/2	3/5	3/8

県連主催・伯耆大山登山案内

- 出発 2/7(金) 20:00 長崎市民会館横出発
 2/8(土) 下山キャンプ場着 テント設営・雪上訓練・スノーハイキング
 2/9(日) 主稜縦走・三鈷峰登山・弥山登山 5時～交流会
 2/10(月) 弥山尾根登攀 ツェルト搬送・雪崩埋没体験・雪洞作り 帰長崎
 2/11(火) 早朝6:00頃諫早着予定

まだ、参加受付可能です。

参加費 21000円位 ホテル宿泊は1泊2食で4500円位

申込みは鎗水さんまで

新特別基金とは？

旧遭難対策基金に代り新特別基金になりました。

新特別基金には第一種と第二種があり、第二種には団体と個人があります。

第一種：会・クラブあるいは地方連盟が所属会員の遭難事故に対応するため任意に資金を積み立て、事故発生時に積立金の10倍までのお金を無利子で借りられる制度です。

第二種(団体)：会・クラブが団体として寄付金(=保険料)を負担し、事故発生会員の救済を行う制度ですが、交付対象と交付額は限定されます。

第二種(個人)：会員個人が寄付金(=保険料)を負担し、事故発生時の救済を受ける制度で、現在の新特別基金の根幹をなしています。

入院 800 円/日 (210 日まで)、通院 400 円/日 (50 日まで)、死亡は掛金の 200 倍
救助捜索は掛金の 300~400 倍 (11 年会継続の場合)

軽登山(5 条件)では入院・通院 3 倍保障あり。

*軽登山の 5 条件：岩・沢・雪・海外を除く、2 km 以下、5 時間内のコース、既設登山道、日帰り、

当然満たすべき条件や制約は伴う。例えば無届登山は対象外。

2013 年 11 月/12 月の山行報告



11 月 22 日 (金)

古処山 (859m)

(参加者) 小山、福岡、佐原、兵庫、中野、田中(紘)、林田、山口、金丸、星子、吉川、本田、高森 (13 名)

(行程) 西諫早駅 7:10—諫早 IC—甘木 IC—登山口駐車場 9:10—林道終点駐車場 10:18

—古処山山頂 11:30—馬攻めの広場 (昼食) 11:55—八丁道分岐 13:20

—だんご庵 14:25—登山口着 14:33—柿園 14:40—紅乙女ワイナリー—西諫早駅着 18:33

(感想) 遠路に行くのには少しゆっくりの出発で、昨日までの天気が嘘のように晴れ渡り川登を過ぎる頃には山際から美しい朝日が出て、一段と紅葉を強調し、山登り気分を奮い立たせてくれた。

朝倉市を隔てる古処、馬見山地は、西端の八丁越えから東端に古処、馬見山、屏山の三山がしだいに標高を増し連なっている。

私たちは古処山を目指す。溪流に沿って林道、沢に沿って歩く。登山道は傾斜を増し上部に山域の水



場だった水船、自然林の中での紅葉が一段ときれいだ。

沢や小さい滝がだんだんに流れ絵の中を歩いてみたい。

天然記念物の黄楊の下を抜ける。樹齢千年以上のもがあると書いてある立て札をみてびっくり。山頂は黄楊が茂り展望はなかったけれど、岩の上に登って見たら筑豊側も朝倉側も良くみえた。登る時も、下る時も石仏が多いのにびっくり・・・。石仏の名前がわからないのが残念。

下山は秋月街道、八丁道とよばれる近道をたどり、だんご庵でやまめ、焼鳥の香りに引き寄せられそうになり横目で見ながら帰路へと着いた。

途中、道が渋滞しているとの事で予定を変更してワイン工場へ。そして柿売り場へ。いつもと違った楽しみが出来て感激。車の中では福岡さんが楽しいお話をしてくださってすばらしい山行でした。

(本田 記)



12月1日(日)

求菩堤山(782m)

(参加者) 川原、佐原、田中(紘)、山口、中須賀、兵庫、間ノ瀬、野中、中里、高森、下釜、林(和)、山下、松岡、林田、川内、福岡、田村、林(孝) 外(外山) (20名)

(行程) 西諫早駅前 6:30—諫早 IC—日田 IC—朴仙の郷(外山さん合流)—鳥井畑—登山口(マイクロバス下車)—座主坊園地—中宮—護国寺—鬼神社—五大尊堂—昼食—辰の口—胎蔵界—護摩場後—阿弥陀窟、氷室後—座主屋敷跡—座主坊園地—登山口 P(マイクロバス乗車)—朴仙の郷(温泉入浴)—日田 IC—諫早 IC—西諫早着 19:00

(感想文1) 修験場と山岳信仰の山、求菩堤山登山に参加する。西諫早駅前6時30分出発。

大粒の雨で今日予定の登山、中止かなあと思い車に乗り込む。

会員の日頃の行いがいいのか、願いが天に届いたのか目的地に近づくに連れて小雨になり登山口に到着したら雨は上がっていた。

道幅が狭い舗装された道は樹林帯に入り紅葉をみながらゆるやかに登っていく。5分程で2本の石柱が現れた。俗界との境界を意味しているらしい。構ノ石門を抜けると石仏が現れ聖域に入った気分。薄暗い植林帯を過ぎると曲った先に色鮮やかな紅葉が目に入る。気持ちの良い散策路を進むと左下に座主坊園駐車場があり、ここでストレッチを済ませここより登る。カエデやイチョウの木々があり、美しい華やかさを見ながら進むと石段のある広い参道にかわる。



高い樹林に挟まれ苔むした上り坂を直進し登り詰めると岩屋坊跡、安浄寺跡に着く。説明板

によると修験者の弔いのぼであった。古い石垣と黄葉が印象的であった。左脇を進むと獅子の口と言う水場があり、カメラを向けるとなかなかシャッターがおりなかった。

石段の参道を登って行くと中宮(国玉神社)にでる。横の急な石段が鬼ノ磴と言われ鬼が権現様との約束をして一夜で築いたという伝説がある。全長 180m、850 段。一直線の石段である。



下山した所で集合写真・撮影野中氏

女性会員、山ガールのかわいいがたくましいお尻を眺めながら山頂に着く。

山頂の巨石は岩座といわれ巨石で神殿をかこっていた。上宮の裏にて岩の隙間より生ぬるい蒸気が吹き出していた。中里氏曰く、辰ノ口だそうです。数秒間隔で吹き出していた。

下山は周回してやや急な坂道を下る。護摩場跡をすぎると五窟めぐりのコースであった。

大日窟、普賢窟、多聞窟、吉祥窟、阿弥陀窟に仏像が安置されてたらしいが今

は資料館に展示されてるらしい。今日は休館日で残念なり。往時の仏教文化が残されている。別に信仰心は無いが一応感心する。紅葉の落ち葉をみながら、氷室の跡を見学して下山。今日は修験場の山岳信仰の背景など偲びつつ厳粛気分をあげよう。霊場の雰囲気を感じるのが不思議だった。朴仙の湯につかり汗をながし疲れをとり車中でお菓子とお茶を飲みつつ帰路につく。楽しい一日でした。

(野中 記)

(感想文 2) 珍しい山名に、何と読むのかなと思いました。

修験道の山と聞くと確かに有りがたい気持ちになるから不思議です。師走最初の山行は すっきりしない空模様・・・登山口から苔むした道を滑らない様に気を付けて歩きました。鬼が一夜にして造ったという約 850 段の石段を登る。

Yさん Hさんは数えながら登り、結果 850 段より多少少なかったようだが鬼も急いで造ったとみえてデコボコしてた。頂上の中宮の裏には温かい湯気が出る「辰の口」があり、冷えた手に気持ち良かった。そこで昼食をとったが暫くすると寒くなり下山になった。帰りはコースが変わり黄や赤の落ち葉を踏みながら回りの紅葉をめでながら・・・途中 幾つもの窟があり氷室跡は規模も大きく明治の始めまで使われていたらしい。先人達の知恵には頭が下がります。こういう所はもっとゆっくり歩き歴史にふれたいと思いました。「ト仙の郷温泉」で疲れを癒し帰途に就きました。

参加者も多く楽しい一日でした。これからもメジャーでなくても心に残る山に出会いたいです。宜しくおねがいします。

(高森 記)



12月8日

郡岳～経ヶ岳縦走

(参加者) 川原、中須賀、鎗水、中里、福岡、野中、間ノ瀬、久保(元)、岩田、松岡、山下、田中(静)、下釜、外(松園) (14名)

(行程) 西諫早駅 6:10—南登山口 6:35—久保車着 7:12—林道出合い 7:35—郡岳頂上 8:38—遠目山頂上 9:55—春日越 10:30—岩屋越 11:20(昼食)—狸だまり 12:20—釜伏山 12:30—つげ尾 14:00—経ヶ岳頂上 14:35—つげ尾 15:15—大払い—黒木駐車場 16:30

(感想) そろそろ感想文の役割が回って来るのではと思って参加したら的中し気が重い今日の山行です。郡岳～経ヶ岳の山行ですが、近場の山だからと思っていたら朝の早い集合でバタバタ……。

マイカー3台で中里さん車(A班)、久保さん車(B班)、中須賀さん車(C班)に分乗して出発する。私はA班で直接南登山口へ。B班は黒木駐車場へ行き岩田さんと合流して南登山口へ来る。まだ薄暗くヘッドランプを出し身仕度したりして待つ間に夜も明けた頃B班が到着。皆でストレッチをし出発する。静まりかえっていた登山口は一変して賑やかな声がこだまし、経ヶ岳を目指し向かう。郡岳への登りは雑木林のゆるやかな道で登りやすい。山頂は平坦で大村湾、野岳湖、大野原を一望することができた。山頂で休憩。



朝が早かった為朝食を摂る人もいた。地図設定、写真撮影し次へ……。低木の雑木林の中は気持ち良くしばらく行くと小さなピークを過ぎると遠目越。遠目越～雑木林の平坦な道が続く遠目山へ。遠目山からゆるやかな下りとなり春日越に着く。春日越から岩屋越までは幾つもの急坂のピークをこえ、途中にはやせ尾根がある。岩屋越は経ヶ岳、郡岳への分岐でもある。ここで早目の昼食をとる。木々の間からの太陽の陽射しを受けても寒く、早々に食事を終えて狸だまりへと傾斜面厳しい下りを木の枝に掴まり、ロープを頼りにノコギリの様ないくつものピークの岩場を越え進む。私の足の方もだいぶ疲れしてきた。



前方のB班で誰もかれも疲れしてきたのか足がつったり痛かったりで湿布の処置など野中さんが指導されていた。Yさんは膝へのテーピングをN氏の足に素早く施してみせて、その後N氏はその膝が軽いと喜んで快調に進んで行った。ここからまたピークをいくつも乗り越えてつげ尾に着いた。ここから経ヶ岳までは一登り。またここへ下りてくることになっ

てたので、私はザックを置いて経ヶ岳に登った。山頂に着いた時は感声と笑顔がいっぱいでした。ここでの写真はちょうど一人で登って来た青年にシャッターを押してもらい、皆揃って写ることができました。経ヶ岳からつげ尾そして大払い谷への下りも大変でした。

無事、歩き通すことが出来て嬉しかったです。皆さん、お疲れ様でした。

(下釜 記)

12月10日(火)

井樋ノ尾岳 (407m)

(参加者) 川原、兵庫、中里、間ノ瀬、松岡、中野、下釜、山下、林(和)、森、山口 (11名)

(行程) アクロスプラザ 8:30—久山茶屋跡—駕籠立場跡—登山口—井樋ノ尾岳頂上—上座—井樋ノ尾岳最後の尾根 12:00 昼食—上座—花の木—登山口—解散

(感想) 昨夜は雨足が強く今日の山行も危ぶまれたが、予報では午後晴れるとのことで決行。今日の山行は井樋の尾岳。集合も久山アクロスプラザユニクロ前。

登山口 麓の峠部落迄車で行き、そこからの登山。頂上まではひたすら林のなかを登ること30分。頂上は樹木の中で眺望が利かない。それまでは歩きやすかった道も登るにつれて尾根道となる。前方には船石岳、松尾岳を、左側には木々の間から田結木場集落の先に飯盛山とその後方に橘湾を望みながら馬の背道のアップダウンが続く。程よいスリル感に正に飯盛アルプスだとの声も聞こえる。上座集落の鉄塔の下で昼食。そこには四等三角地の丸標識が埋められていた。見渡すと木々の葉も黄葉、紅葉となり初冬の景をなしている。所々に櫨の紅葉が残っていて美しい。座っていると寒くなり早々に帰ることに。帰りは田結木場へ下る。山の中では



ごみはなかったが車の窓から捨てるのだろう空き缶、紙切れなどが目につきごみ袋に入れ下げながら下っていると軽トラックがスーと止まり「そのごみ持って行きましょうか、後ろに積んでください」との声に、我々も「じゃすみません」と2袋のごみを預けました。回収業者でもない鋼材2本を積んだきれいな車でした。ほんの数分のことでしたが、善意のリレーに爽やかな余韻を残し“ハイジェット8”の軽トラックは去っていきました。今時、奇人田

舎ではまだまだおられました。

花の木神社で諫江八十八か所の八十六番札所へ詣り峠部落まで自然歩道を歩いて帰りました。危ぶまれた天気もいつしか青空となり、遠くには多良岳も望みながら井樋の尾岳1周6時間の旅でした。皆さんお疲れ様でした

(山口いつこ 記)

12月13日(金)

小浜～唐比

(参加者) 小山、兵庫、佐藤、林(孝)、林田、金丸、川内 (7名)

(行程) 諫早駅県営バスターミナル 8:55～小浜バスターミナル 9:40→肥前小浜駅跡 10:20
→竿午前様 10:30→六角井戸 11:10→富津弁天公園 (弁天宮) 11:25
→木津駅跡(昼飯)12:30→千々石海岸 13:50→濱駅(旧温泉軽便鉄道)15:20
→15:30～水晶観音(55番札所)15:40～諫早 16:15

(感想) この歩きは唐比から小浜になったり有喜から歩いたり多少コースは変更になるが、ひまわりの恒例の歩きで以前は私も随分参加し沢山の思い出がある。段々舗装した道路が苦手になり今回久しぶりに参加したので皆さんに付いて行けるか不安であった。予定ではバスだったが小山先生が自家用車を出してくださいました。

小浜バスターミナルで弁当を買いトイレを済ませいよいよ歩き開始。

まず肥前小浜駅跡へ、これは愛野からここまで通った旧鉄道の跡である。次にまだ拝んだことがないメンバーもいたので男性のシンボルを祀ってある竿午前様へ行った。



六角井戸は当時飲み水がなく困っていた住民に、弘法大師が杖を立ててここを掘るように教示したので掘ったら海のすぐ近くにもかかわらず真水が出て大いに利用された有難い井戸と言われているそう。

この歩きで今回始めて取り入れたのは富津弁天公園。松林の中に弁天宮をはじめいろいろ祀られていた。松林の中央にはツワの花が咲き、林の向こうにキラキラ海が光って見える。松葉を踏んで海の方に行くと海に大きな岩があり絶景であり儲けた気分である。ここからぐっと上がって海岸をはなれた道に出た。この辺りには黄色いアブラギク？がどこに行っても咲いており元気を与えてくれる。「はよー来てみんしゃい！東尋坊のごたっよ！」誰かが叫んだ。急いで行って下を覗くとまさに東尋坊のような絶景だった。トンネルを通過して木津駅跡近くで道下の風があたりなところで昼飯を摂った。

千々石海岸ではカモメやサギ類が楽しそうに戯れ遊んでいた。すっかり回復して良い天気になったので海はキラキラと輝き美しい。波打ち際には波が音を立て白波が押し返している。「海は広いな大きいな」自然と歌がでた。山に目を転じると紅葉してこれまた美しい。

小山先生が前になり後になったり車で付いて来てくださるので安心して歩くことが出来ましたが長い長い海岸線を通り、唐比めがけて歩くとさすが疲れてきた。歩数も3万歩を超えている。今日は唐比温泉には行かないで帰ると決めていたので、濱駅から10分ほど歩いた後、車に乗り込んだ。唐比の水晶観音(55番札所)にお参りした後諫早に向かった。

今回一番嬉しかったのは天気が素晴らしく良くなったことである。私の数少ない山行(白山)以来(琴の尾岳)を除いて全部雨が絡んでいた。今回も午後は回復するとの予報であったがこんなにも良い天気になるとは本当に有難かった。それで時間をきにせず自然を愛でることが出来た楽しい一日でした。小山先生はじめ皆さんお疲れ様でした。(川内 記)



郡岳～経ヶ岳9時間14Kの軌跡

7:35
南登山口発

8:35
郡岳着

9:50
遠目山着

10:30
春日越着



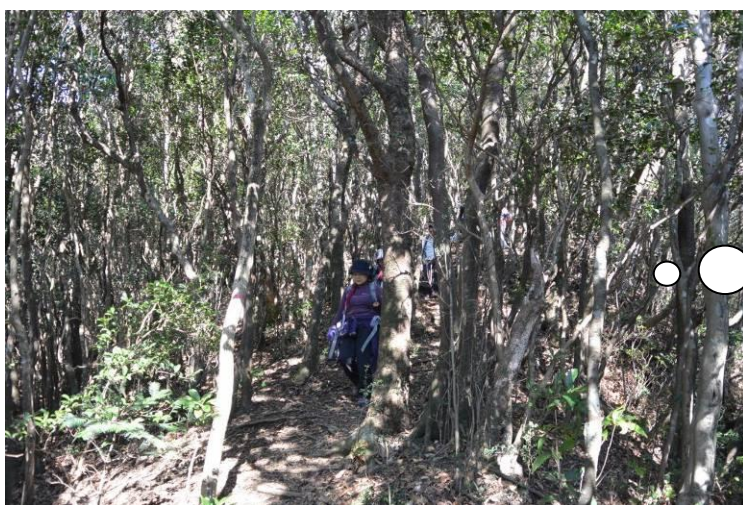
11:20
岩屋越(昼食)

12:50
釜伏山着

14:20
つげ尾着

14:40
経ヶ岳着

16:45
黒木駐車場着



一人で歩いてるわけ
じゃないんです。前後
の人が離れちゃって
心細いよ～なんちゃ
って(^-^)



久しぶりのまっちゃんも参加



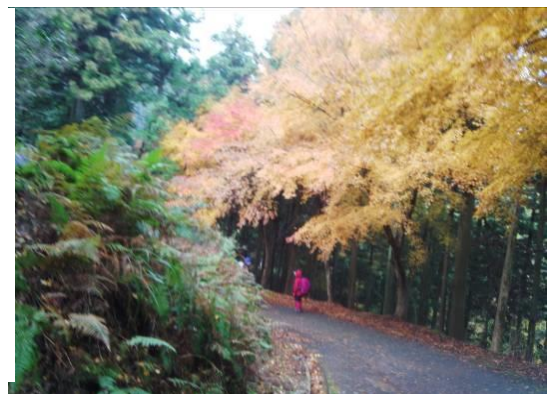
オレンジが立てた道標もちゃんとあった



まだ残っていた求菩提山の黄葉、一面に敷き詰めた所をふみながら歩いた



最近富にカメラの腕を上げてきたN氏。12/1も求菩提山での最後の黄葉をねらう。



おれんじニュースNo286	
発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡正廣
編集責任者 及び 原稿送付先	山下ちず子
発行年月日	2013.12.25
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com/

今年も残り少なくなってきましたね。今年一年間お世話になりました。2月号のおれんじニュースは鎗水さんのパソコン門下生で制作されるという事です。感想文、写真など鎗水さんのアドレスにお送りください。それではみな様良いお年をお迎え下さいね。
(山下)